



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 52
R6. 10. 8
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

仲間と自分アピール発表会 その4

7日(月)に4回目の発表会を行いました。今回の発表は、バドミントンの連続ラリーとピアノ演奏でした。バドミントンのラリーを応援しようと、クラスの仲間と先生が大勢会場に来てくれました。仲間の声援に後押しされて、見事目標のラリー回数を達成することができました👏👏👏

ちなみにバドミントンのペア名は「フクタク」ペアです🎵



女の子二人は
優しい音色を奏でました🎵

週末いっぱい練習
してきました🎵



先生とペアでラリーの目標を達成した4年生は、
新たな挑戦に意欲を燃やしていました!

親の目の前にいるだけで百点満点の親孝行

そもそも子どもというのは、そこにいるだけで、親の目の前にいるだけで百点満点の親孝行をしているのだと思います。でも往々にして私たち親は、「もっと勉強ができる子になってほしい」、「言うことをよく聞く素直な子になってほしい」など、子どもに百点以上の満足を求めようとします。

でも本当は、**子どもがそこにいるだけで幸せな存在なんだ、それだけでいいんだ**、ということ、私達は、たまに思い出さなくてはいけないと思うのです。子どもに対する親の要求が、あまりに高いものだったり、厳しく求めすぎたりすると、子どもにとって、大変キツくなるのではないかと思います。子どもへの期待が大きすぎると、子どもを窮屈にしてしまうことがあります。ひたすら親に褒められるタイプの「良い子」を目指すのは、とても大変なことです。

子どもにとって大事なのは、たとえ親の「期待」には応えられなかったとしても、親の「信頼」だけは裏切らないことだと思います。様々な信頼がありますが、親の子どもへの信頼の一番根っこにある大きなものは、「**昨日までがそうだったように、今日もこの子は元気である**」そのことなのだと思います。我が子が元気でいたら、それでもう親の信頼に応えていることになるのではないかと思います。

高学年の子どもたちは、これから本格的な思春期に入っていきます。なかなか親の期待通りにいかない時期に入ってきます。さあ皆さん、覚悟はいいですか? 三人の娘と一人の息子を持つ私は、毎日が悪戦苦闘の子育てでした。